

保存版

“もしも”の時に
備えよう!

岩国市

防災ガイドブック



1 地震対策編

2 津波対策編

3 土砂災害対策編

4 火災対策編

5 非常持出品

6 避難のタイミング

7 防災情報伝達手段

8 災害種別避難場所一覧

9 防災学習館／ハザードマップ

10 安否確認の方法

岩国市総務部危機管理課

地震

津波

土砂

火災

非常持出品

避難時

防災情報
伝達手段

災害種別
避難場所
一覧

防災学習館／
ハザードマップ

安否確認
方法

地震が起きたときの行動は？

「地震発生時」の行動

地震発生！ まずは身の安全を確保する

- 緊急地震速報や、大きな揺れがあったときは、**まずは身の安全を最優先に行動する。**
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階（おおむね10階以上）での注意点】

- 高層階では、揺れが数分間続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れで、家具類の転倒や落下、また大きく移動する危険がある。



「地震直後」の行動

火元の確認と初期消火

- 火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火しているときは消火する。ただし無理はせず、119番通報や周囲に助けを求める。



あわてた行動はけがのもと

- 屋内では、転倒や落下した家具類、割れたガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくる危険があるので外に飛び出さない。
- 倒壊のおそれのあるブロック塀、電柱、看板、自動販売機、橋などには近寄らない。



大きな地震が発生した際、一瞬の判断が生死を分けることもあります。いざというとき「あわてず落ち着いて」行動するために、基本的な行動パターンを覚えておきましょう。

「揺れがおさまった後」の行動

状況に応じた避難

- 家屋倒壊のおそれがあったり、近隣に大きな火災が発生したときは、避難所などに避難する。
- 津波や土砂災害のおそれのある場合は、状況に応じてより安全な場所へ避難する。



家族構成に応じた避難

- 家族に子ども、高齢者、障がい者などの避難に時間のかかる要配慮者がいる場合は、早めに避難準備を開始する。
- 必要に応じて地域に支援を求める。



正しい情報を集める

- ラジオやテレビ、行政、消防、警察など信頼できる機関から正しい情報を集める。
- 災害時に増えるデマや流言飛語にまどわされないようにする。



避難の前に安全確認

- 火災などの二次災害を防ぐために、避難が必要になったときは、できるだけ電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難する。



資料：東京消防庁



緊急地震速報とは？

地震の揺れの警報・予報です。気象庁が最大震度5弱以上と予測された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に発表します。テレビやラジオ、携帯電話で入手できます。



こんな場所で地震が起きたら

屋内にいたら

エレベーターの中では

- 最近のエレベーターは地震の揺れを感知すると自動的に最寄りの階に停止するのでそこで降りる。自動で停止しない場合はすべての階のボタンを押し、停止した階で外に出る。
- 万が一閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターホンで外部と連絡を取り、救出を待つ。天井などから無理に脱出するのは危険。



デパート・スーパーでは

- 商品の落下やショーケースの転倒、ガラスの破片に注意する。柱や壁際に身を寄せ、手荷物で頭を守る。
- あわてて出口に殺到するとパニック状態になることもあり危険。店員の指示に従って行動する。



学校では

- 先生や校内放送の指示に従う。
- 教室にいるときは、揺れだしたらすぐ机の下にもぐり、机の脚をしっかりと持つ。
- 転倒や破損のおそれがある本棚や窓から離れ、安全な場所に移動する。



地震は自宅にいるときに起きるとはかぎりません。大きな揺れがあったとき冷静に身の安全を図れるように、それぞれの場所に応じた注意点を知っておきましょう。

屋外にいたら

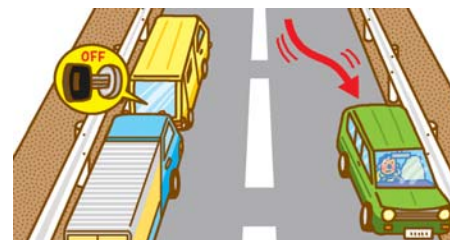
路上では

- 手荷物などで頭を守り、広場などへ移動する。
- 繁華街ではガラスや看板などの落下物に注意。住宅街ではブロック塀や門柱から離れる。
- 自動販売機の転倒にも注意する。



車の運転中は

- 急ブレーキは事故のもと。徐々にスピードを落とし、道路の左側に停止してエンジンを切る。
- 揺れがおさまるまでは車外に出ず、カーラジオなどで情報を確認する。
- 車を離れるときは車検証など貴重品を持ち、キーはつけたままでロックもしない。



電車やバスの中では

- 緊急停車の衝撃に備え、つり革や手すりにしっかりとつかまる。
- 網棚からの荷物の落下に備え、手荷物で頭を保護する。
- 勝手に車両から降りず、係員の指示に従う。



海岸・がけ付近では

- 海岸にいたら直ちに高台や近隣の高い建物、指定の避難場所へ逃げる。
- がけ付近にいたら、崩れる危険性のある場所からすぐに離れる。



津波の怖さを知っておく

おそろしい津波の破壊力

津波はおそろしい力で人や家をのみ込み、陸地に押し寄せる波だけでなく、海へと引き返す波もとても強力で、何度も繰り返し押し寄せます。また、危険なのは沿岸部だけに限りません。津波が何キロも河川をさかのぼる場合があるので、河川の沿岸でも十分に気をつける必要があります。

津波の強度による被害程度のカテゴリー

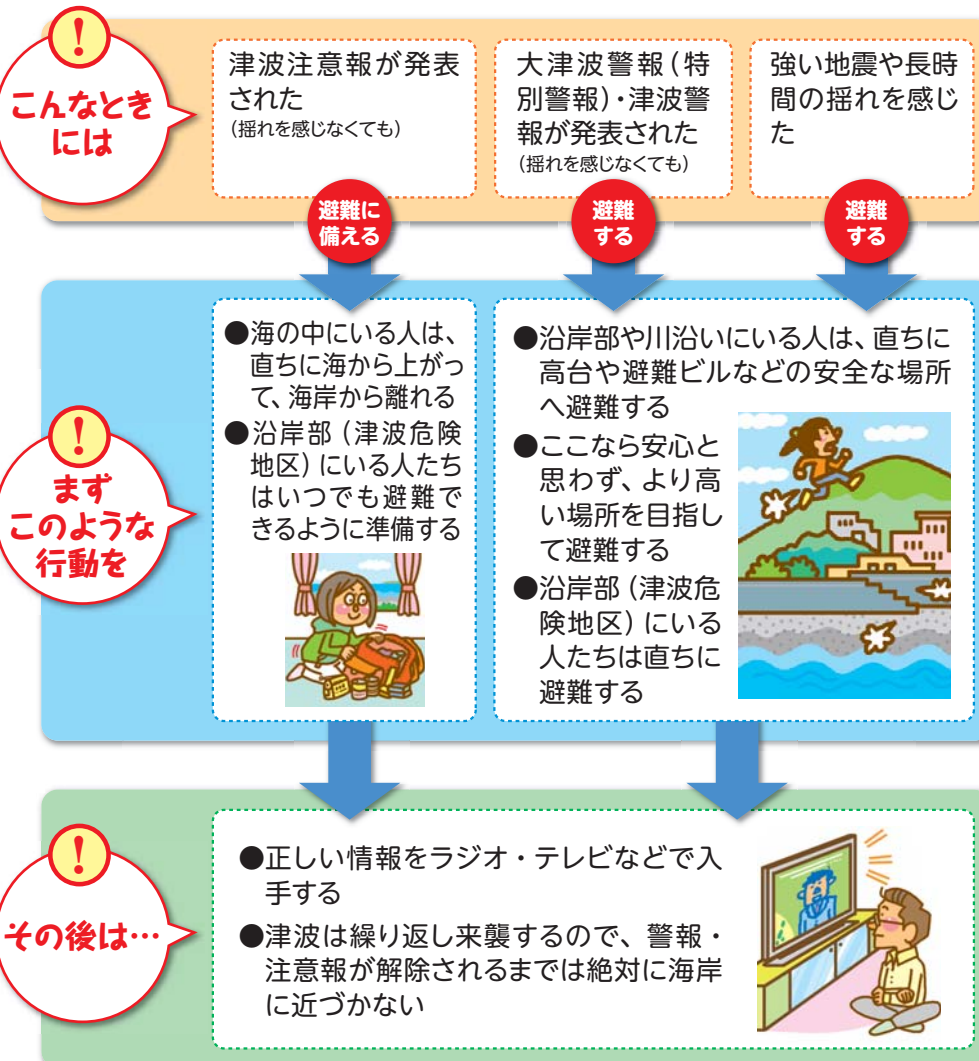
津波強度	津波波高	木造家屋	石造家屋	鉄筋コンクリート家屋
5	32m			全面破壊
4	16m			
3	8m	全面破壊	全面破壊	
2	4m			
1	2m	部分的破壊		
0	1m			
			持ちこたえる	持ちこたえる

資料：気象庁

津波とは、海底で起きた地震によって、海水が陸地に押し寄せてできる波のことです。津波は海岸を数十メートルの高さまでかけのぼることもあり、非常に大きな被害をもたらします。

津波から命を守る対応方法

津波から身を守るには「逃げる」しかありません。自分の命を守るため、注意報・警報等の発表から避難までをシミュレーションしておきましょう。



津波の備えは油断が禁物

津波の心得10か条

1 小さな揺れでも油断禁物！

小さな揺れでも大津波のおそれがあるので気をつけましょう。



2 より遠く、より高い場所へ避難する！

海岸で揺れを感じたら「より遠く」「より高い」場所へ避難しましょう。



3 津波の速さは想像以上！

早いときには、揺れから数分で津波が押し寄せます。揺れを感じたら、直ちに避難しましょう。



4 津波は繰り返し押し寄せる！

津波は2波、3波と何度も襲ってきます。第1波より2波目、3波目に大津波がくることもあります。



5 津波の前に潮が引くとは限らない！

地震の起こり方や海岸の形によっては、津波の前に「引き潮」が起こらない場合もあるので注意しましょう。



6 満潮時は要注意！

満潮時は水位が高くなり、津波がより高くなるので被害が大きくなります。



津波対策で重要なことは、油断しないことです。「津波はないだろう」「まだ来ないだろう」といった油断が命取りにもなりかねません。日ごろから十分に備えましょう。

7 正しい情報をすぐ入手する！

防災行政無線やテレビ・ラジオなどで正しい情報を速やかに入手しましょう。



8 河川に近づかない！

津波は川をさかのぼるので、河川には近づかないようにしましょう。



9 海岸に近づかない！

注意報・警報が解除されるまでは、絶対に海岸に近づかないようにしましょう。



10 家族へ行く先を伝える！

海や川に遊びや釣りに行くときには、家族に行く先を伝えておきましょう。

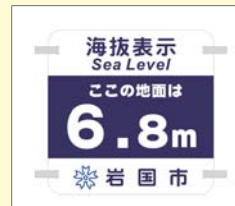


海拔表示シートについて

岩国市では津波や高潮による浸水対策として、公共施設や市道などに海拔表示シートを設置しています。自分たちが暮らしている家やその周辺がどの程度の海拔か確認できます。

また、自宅周辺等の海拔を確認したい方は、国土地理院の地理院地図より確認ができます。

なお、南海トラフの巨大地震が発生した場合、岩国市の震度は6強、最大3メートルの津波が押し寄せる想定がされています。



土砂災害から身を守るために

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして生命や財産を奪ってしまいます。土砂災害の発生を予測するのは難しいものですが、前兆現象が見られる場合があります。気象情報に注意して、身近に土砂災害の危険箇所があり前兆現象を確認した場合は、早めに避難しましょう。



がけ崩れ・山崩れ



こんな前兆現象に注意！

- がけからの水がにごる。
- 地下水やわき水が止まる。
- 斜面のひび割れ、変形がある。
- 小石が落ちてくる。
- がけから音がする。
- 異様なにおいがする。

地すべり



こんな前兆現象に注意！

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水がふき出す。
- 家やよう壁に亀裂が入る。
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾く。

土石流



こんな前兆現象に注意！

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 川の水がにごったり、流木がまざったりする。
- 腐った土のにおいがする。

集中豪雨などによる土砂災害の被害を減らすために、普段から家の周囲の危険箇所などを確認するなど土砂災害に対する警戒心をもちましょう。特に傾斜地や山のふもとなどに家がある場合は、防災マップなどで危険箇所など調べておきましょう。

土砂災害から避難するポイント

土砂災害は被災すると命に関わる危険が高いため、早めの避難が必要です。山口県が指定する「土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）」や「土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）」にお住まいの人は、特に注意が必要です。事前にハザードマップなどで自分の住んでいる地域を確認しておきましょう。

ほかの土砂災害危険区域を通らない

避難する際は、ほかの土砂災害危険区域（危険箇所・警戒区域など）を通らないようにしましょう。

土石流に直面したときの逃げ方

土石流のスピードは、時速20～40キロととても速く、流れに背を向けて逃げても、追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に走って逃げましょう。



長雨や豪雨に注意

1時間に20ミリ以上、または降り始めからの降雨量が100ミリ以上になったときには、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。

前兆現象を知り早めに避難

土砂災害の発生前には、前兆現象がみられることがあります。前兆現象を知ったときは、すみやかに避難しましょう。

避難の余裕がないときの緊急避難

比較的高い鉄筋コンクリート造りなどの堅固な建物の2階以上の、斜面とは反対側に位置する部屋に避難しましょう。



火災発生時の行動3原則

もし出火したら…

行動1 早く知らせる

- ① 大きな声で「火事だー!」と叫び、隣近所に知らせる。声が出ないときは、非常ベルを鳴らすか、やかんやなべなど音が出るものをたたく。
- ② どんなに小さな火事でも必ず119番通報する。



覚えておこう!

「119」のかけ方

通報時に伝える内容の例

1 火災であることを伝える

2 災害現場の場所（住所）

3 何が燃えているか

4 けが人や逃げ遅れている人がいるか

5 かけている電話番号
(携帯電話の場合は携帯電話の番号)

6 通報者の名前

●携帯電話から通報する場合

災害地点を確認するのに時間がかかる傾向があります。携帯電話から通報するときは、次の点に注意してください。

- 所在や目標を確かめてから通報を
- 自動車からの通報は、安全な場所に停車してから
- 通話終了後もしばらくは電話を切らないように
- 途中で切れないように注意を
- 携帯電話は地域外の消防本部につながる可能性があるの、市町名を正確に伝える

火災時はパニックになりやすいので、
ゆっくりと話すように心がけましょう!

火災が発生したら、まずは大きな声で周囲に知らせましょう。その後「通報」「初期消火」「避難」の順に行動するのが原則です。ただ、出火直後なら「通報」と「初期消火」が優先されますが、逃げ遅れては大変です。あわてず冷静な判断を心がけましょう。

早く消す

行動2

- ① 火がまだ横に広がっているうちは消火が可能。ただし、炎が天井に届いたときは避難する。
- ② 消火器や水だけでなく、毛布など手近なものを利用する。



覚えておこう!

火元によって消火方法が異なる

コンロ

- 油なべに水をかけるのは厳禁。
- 消火器は離れた位置からなべの全面を覆うように向け噴射する。
- 消火器がない場合は、シーツやバスタオルをぬらして手前からかぶせ、コンロの火を消す。

ストーブ

- 消火器は直接火元に向けて噴射する。
- 消火器がない場合は、シーツや毛布などをぬらして手前からすべらせるように覆いかぶせ、空気を遮断する。

衣類

- 着衣に火がついたら、あわてず走らず床に転げまわって火を消す。風呂場に残り湯があれば、浴槽に飛び込む。

電気器具

- いきなり水をかけると感電の危険がある。コンセントかブレーカーを切り、消火器で消火する。

カーテン・ふすま・障子

- カーテンは燃え広がる前に水をかける。できればレールから引きちぎり消火する。
- ふすまや障子などはけり倒して、踏み消す。その後、水をかけてしっかり消火する。

たばこ

- 寝たばこなどにより布団などの綿製品が焦げた場合は、消したつもりでも見えないところに火種が残り、再び燃えだすことがあるので、浴槽などにつけ完全に消す。

行動3

早く逃げる

- ① 天井まで火が燃え広がったら消火は困難。無理せず早めに避難する。
- ② 可能ならば、燃えている部屋の窓やドアを閉め、空気を遮断してから避難する。



火災の被害を減らすために

消火器の使い方を覚えておこう

消火器の使い方

- 1 安全ピンに指をかけ、上に引き抜く



- 2 ホースをはずして火元に向ける



- 3 レバーを強く握って噴射する



消火器の構え方

- 1 火の風上にまわり、風上から構える

- 2 やや腰を落として、低く構える

- 3 炎を狙うのではなく、火の根元を掃くように左右に振る



消火器は定期的に点検を!

安全ピン

- 変形、破損はないか
- 封印は切れていないか

ホース

- ひび割れ、ゆるみ、劣化はないか

本体・底部

- サビや変形はないか

シール

- 使用期限内か、使用限界年数を調べて書き加える

レバー

- 変形、破損はないか

キャップ

- 変形やゆるみはないか

ゲージがついている場合

- 圧力を示す針が規定内にあるか

消火器の種類

- 有効な用途を確認する

本当に恐ろしいのは煙です!

火災で発生する煙には、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれています。吸い込むと中毒などにより命を落とす危険性があるので、次のポイントに気をつけながら避難しましょう。

- ぬらしたタオルやハンカチなどで口と鼻を覆う
- 短い距離なら息を止め、一気に走りぬける
- できるだけ姿勢を低くする
- 視界が悪いときは壁づたいに避難する

火災による被害を減らすために、消火器を準備して使い方を覚えておきましょう。また、日ごろから火の用心のポイントもおさえておきましょう。

火災に備える日ごろのポイント

1 放火対策を万全に

ゴミは指定日の朝に出すなど、家のまわりに燃えやすいものを置かない。車庫、物置などの戸締まりも忘れずにする。

2 コンロから離れない

コンロのまわりに燃えやすいものを置かない。火がついているコンロから離れるときは、必ず消すこと。



3 子どもの火遊びに注意

子どもには火の安全な扱い方や怖さを教える。子どもの手の届くところにマッチやライターを置かない。



4 寝たばこ、ポイ捨ては厳禁

火がついたたばこを放置しない。喫煙するときには深い灰皿を使い、吸殻を捨てる時は必ず水につける。

5 ストープのまわりを整理

衣類や布団など、ストーブのまわりに燃えるものを置かない。家具のそばにストーブを置かない。近くで洗濯物を乾かすのは危険。

6 配線まわりはきれいに

複数のコードをまとめたり、たこ足配線にしない。コードの上にものを載せるのも危険。コンセントまわりは定期的に掃除する。



住宅用火災警報器を設置しましょう

火災予防条例により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。尊い命や大切な財産を守るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。また、設置した警報器は定期的な作動確認を行い、設置から10年以上経過したものは電池切れや電子部品の劣化も考えられますので、交換することを推奨します。

非常持出品と非常備蓄品

非常持出品の例

懐中電灯	できれば一人に一つずつ用意。予備の電池も忘れずに（発電式のものもある）。
携帯ラジオ	小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの。最近では手で充電できるものや、携帯電話の充電ができるものなどがあり便利。
非常食・水	缶詰やクラッカーなど、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入りが便利。
貴重品	多少の現金、健康保険証のコピーなど。公衆電話を利用するための硬貨も。
救急医薬品	傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬などのほか、常備薬とお薬手帳（写し）を必ず用意する。
その他	ヘルメット、下着類、軍手、ライター、ナイフ、ティッシュなど。



非常備蓄品の例

食料品	缶詰やレトルト食品など非常食3日分できれば7日分以上を備蓄。高齢者や子ども、アレルギー体質者など配給される食事をとるのが難しい家族がいる場合には、その事情に合った食料を多めに準備。
水	飲料水は大人一人あたり1日3リットルが目安で、3日分できれば7日分以上を用意する。水の配給を受けるためのポリ容器などがあると便利。
燃料	卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベなど。
工具	ロープ、バール、はさみ、のこぎりなど。
その他	簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、マスク、シート、筆記用具など。



「定期的なチェック」を忘れずに

非常持出品や非常備蓄品は、半年に1回程度の割合で中身を点検しましょう。飲料水や非常食の賞味期限のチェックをはじめ、医薬品などの使用期限、電池切れなどの確認は重要です。また、家族構成や健康状態の変化などによっても必要となるものや量が変わってきます。いったん準備してもそれで安心せず、定期的な見直しを忘れずに行いましょう。

非常持出品は、災害から避難するとき最初に持ち出すものです。非常備蓄品は、復旧するまでの数日間を支えるものです。用途に合わせて事前に用意しておきましょう。

非常持出品チェックリスト

品名	点検日記入欄	品名	点検日記入欄
<input type="checkbox"/> 非常食		<input type="checkbox"/> ナイフ、缶きり、栓抜き	
<input type="checkbox"/> 飲料水		<input type="checkbox"/> ティッシュ（ウエットタイプも）	
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（予備の電池）		<input type="checkbox"/> タオル	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備の電池・電球）		<input type="checkbox"/> ビニール袋	
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん		<input type="checkbox"/> 上着・下着	
<input type="checkbox"/> 救急医薬品		<input type="checkbox"/> 軍手	
<input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳（写し）		<input type="checkbox"/> シート	
<input type="checkbox"/> 貴重品			
<input type="checkbox"/> 現金			
<input type="checkbox"/> 健康保険証のコピー			
<input type="checkbox"/> ろうそく・ランタン			
<input type="checkbox"/> ライター（マッチ）			

非常備蓄品チェックリスト

品名	点検日記入欄	品名	点検日記入欄
<input type="checkbox"/> 食料（缶詰、レトルト食品、ドライフーズなど）		<input type="checkbox"/> ラップ、アルミホイルなど	
<input type="checkbox"/> 食料（調味料、スープ、みそ汁など）		<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ、トイレトペーパーなど	
<input type="checkbox"/> 食料（チョコレート、あめなど）		<input type="checkbox"/> マスク、使い捨てカイロなど	
<input type="checkbox"/> 水（1人あたり1日3リットル）		<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
<input type="checkbox"/> 燃料（卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど）		<input type="checkbox"/> 補聴器など	
<input type="checkbox"/> 毛布、タオルケット、寝袋など		<input type="checkbox"/> 工具類（ロープ、バール、スコップなど）	
<input type="checkbox"/> 洗面用具			
<input type="checkbox"/> なべ、やかん			
<input type="checkbox"/> 簡易食器（わりばし、紙皿、紙コップなど）			

こんな用意もしておきましょう

乳幼児のいる家庭

粉ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、清浄綿、おぶいひも、バスタオルまたはベビー毛布、ガーゼなど

妊婦のいる家庭

脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、清浄綿および新生児用品、ティッシュ、ビニール風呂敷、母子健康手帳など

要配慮者のいる家庭

着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、予備のメガネ、緊急時の連絡先表など

災害から避難するタイミング

避難に関する3つの情報

災害の危険が迫って避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。3種類の情報は状況の深刻度に応じて出され、各情報に応じた避難行動が求められます。災害の状況によっては突然の避難勧告や避難指示（緊急）が出されることもあります。

① 避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合

- ❗ いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
- ❗ 避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方等）は避難を開始しましょう。

② 避難勧告

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

- ❗ 避難場所へ避難をしましょう。
- ❗ 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。



③ 避難指示（緊急）

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

- ❗ まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。
- ❗ 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難における心得

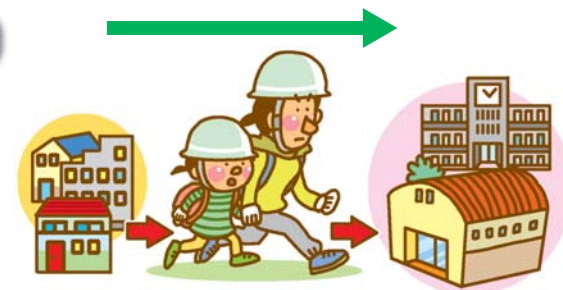
- 各人が自らの判断で避難行動をとることが原則です。
- 避難した結果、何も起きなければ「幸運だった」という心構えが重要です。
- 避難勧告等の対象とする区域はあくまでも目安です。その区域外でも、危険だと感じたら速やかに避難しましょう。

大地震や風水害などの災害が発生し、家屋にとどまることが危険な状態になった場合は、落ち着いてすばやく避難する必要があります。その際には、高齢者や障がい者など要配慮者の保護を念頭に置き、近所の一人暮らし高齢者世帯などにも声をかけるなど近隣で協力することが大切です。

命を守るための避難行動を

① 立ち退き避難

危険が切迫している場合は、指定された避難場所へ移動する。



② 屋内安全確保

近隣の安全な建物や屋内のより安全な場所へ移動する。

例えば

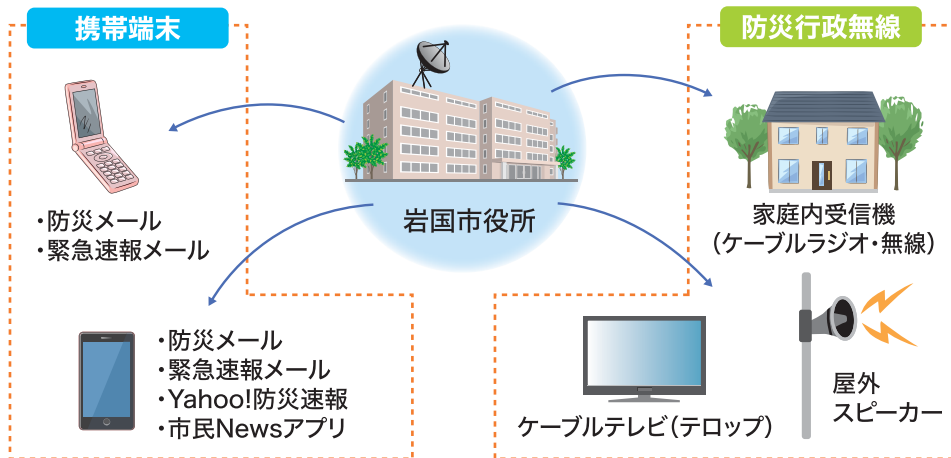
- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している（50センチ以上）。
- 浸水は20センチ程度だが、水の流が速い。
- 浸水は10センチ程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。



- ★ 屋外への移動は危険。
- ★ 自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つ。

1 防災情報の発信について

岩国市では、災害発生時などに迅速かつ正確に防災情報をお知らせするため、防災行政無線の整備や防災メールの配信などを行っています。



2 防災情報の発信手段について

		防災情報		行政情報	気象情報	火災情報	時 報
		避難指示など 緊急情報	その他の 防災情報				
無 防 災 行 政 *1	屋外スピーカー	○	○	×	×	○	○
	家庭内受信機	○	○	×	○	○	×
防災メール *2		○	○	×	○	×	×
市民Newsアプリ *3		○	○	○	×	×	×
Yahoo!防災速報 *4		○	×	×	○	×	×

- *1 防災行政無線 **防災情報、行政情報** 内容によっては、地域(旧市町村)ごとに放送することがあります。屋外スピーカーは、火災発生時等に消防団を召集するために放送します。家庭内受信機は、地域ごとに火災発生場所等を放送します。
- *2 防災メール **気象情報** 登録した人が希望する情報(警報、注意報、対象地区など)を配信します。
- *3 市民Newsアプリ 岩国市が平成29年度に開発を予定するスマートフォン用アプリケーションです。
- *4 Yahoo!防災速報 Yahoo!Japanが提供する無料のスマートフォン用アプリケーションです。Yahoo!JapanのID登録が必要です。気象情報は、設定した情報(警報、注意報など)を配信します。

3 防災行政無線について



岩国市では、災害時に避難指示(緊急)などの防災情報を知らせるため、防災行政無線を整備しました。市内全域に屋外スピーカーを238基設置し、ご希望の家庭には家庭内受信機を設置しています。

家庭内受信機(ケーブルラジオ)の概要

- 【概 要】** ケーブルテレビ会社のケーブル網を利用し、防災情報を配信
- 【負 担 額】** 無料
- 受信料、引き込み工事費ともに無料
 - ケーブルテレビ会社に参加していない場合でもすべて無料
- 【サ イ ズ】** 横170mm×高さ126mm×奥行58mm
- 【電 源】** AC100V
- 【停電時用電池】** 単三型充電式ニッケル水素電池3本
- 【ラジオ機能】** FM・AM計5局

- 【備 考】**
- 防災情報はラジオを聴いている時でも割り込んで放送されます。
 - ボリューム調整は、「大・中」のみとなります。

防災行政無線の放送内容は
☎29-1111(24時間以内)で
確認できます。

*無線による受信機(負担金2万円)もあります。



4 防災メールについて



岩国市では、災害時の避難情報、気象情報などをメールにより配信するサービスを実施しています。

登録方法

岩国市ホームページ、または岩国市防災メール登録ページより登録を行ってください。



■ 岩国市ホームページ

<https://www.city.iwakuni.lg.jp>

■ 岩国市防災メール登録ページ

<http://www.fastalarm.jp/iwakuni/htdocs/>



配信情報

- 岩国市からの**避難指示(緊急)**や**避難勧告**などの防災情報
- 地震、津波、注意報警報、台風などの**気象情報**

5 その他の防災情報発信手段について

岩国市防災メール以外にも、山口県や民間事業者が配信するサービスがあります。

緊急速報メール

携帯電話各社が提供するメールサービスで、気象庁からの緊急地震速報など緊急の通知が配信されます。岩国市においても避難指示（緊急）など人命に係わる緊急情報を配信します。

※機種によっては受信できない場合があります

Yahoo!防災速報

「Yahoo!Japan」が提供するスマートフォン用の無料アプリケーションで、緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などの防災情報を配信します。

山口県土木防災情報システム

山口県が提供する雨量や河川水位などの防災情報を閲覧できます。

URL http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp/kco_top.aspx



山口県土砂災害ポータル

山口県が提供する土砂災害特別警戒区域等のマップや土砂災害降雨危険度などの防災情報を閲覧できます。

URL <http://d-keikai.pref.yamaguchi.lg.jp/portal/>



市民Newsアプリ

岩国市の各種行政情報や防災情報を配信するスマートフォン用のアプリケーションです。（平成29年度開発予定）

6 避難場所について

岩国市では学校や公民館などの公共施設に加え、病院や福祉施設などの民間施設のご協力のもと災害時の避難場所を指定しています。

避難場所開設時には市から開設をお知らせします。

緊急避難場所

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、その危険から逃れるための場所です。

🟢 早期避難場所

台風接近などに備え、早めに避難をされる方のために開設する避難場所です。

🟡 要援護者向けの避難場所

高齢者や障害者などで援護を必要とする人に適した施設がある避難場所です。

🟢 ペット受入可能な避難場所

ペットの受け入れが可能な避難場所です。ペットはゲージに入れるなど他の人の迷惑にならないようお願いいたします。

緊急避難場所 一覧については次ページ

緊急避難場所	種別	所在地	電話	災害種別ごとの適否				
				洪水	土砂	地震	津波	高潮
ホテルかんこう		岩国1-1-7	43-1111	○		○	○	○
岩国小学校		岩国3-1-18	41-0447		○	○	○	○
中央公民館	🟢	岩国4-4-15	43-0174		○		○	○
岩国工業高校体育館		錦見2-4-85	41-1105	○		○	○	○
岩国中学校		錦見2-5-80	43-4400			○	○	○
顕真幼稚園		錦見5-7-28	41-0738		○	○	○	○
岩国自動車学校		錦見7-1-40	41-0987		○	○	○	○
サンライフ岩国		横山2-7-28	43-3505		○	○	○	○
教育センター		横山3-1-11	43-0901		○	○	○	○
岩国高校体育館		川西4-6-1	43-1141	○	○	○	○	○
総合体育館	🟢	平田1-40-1	32-7411	○	○	○	○	○
平田小学校		平田3-5-1	31-7312	○	○	○	○	○
平田供用会館・住民ホール	🟢	平田3-22-18	31-2514	○	○	○	○	○
岩国商業高校体育館		平田5-52-10	31-4133	○	○	○	○	○
平田中学校		平田6-10-33	32-1111	○	○	○	○	○
老人福祉センター	🟡	南岩国町2-65-38	31-4355	○		○	○	○
白崎八幡宮（モリアルコート）		今津町6-12-23	29-1122	○		○	○	○
市民会館	🟢	山手町1-15-3	24-1221		○			
麻里布小学校		山手町1-7-41	21-7111	○	○	○		
NTT岩国電話交換所		麻里布町3-7-9	30-5190		○	○		
福祉会館	🟢	麻里布町7-1-2	22-5877		○			
麻里布中学校		室の木町2-7-11	22-2234	○		○	○	
医師会病院	🟡	室の木町3-6-12	21-3211	○		○	○	
保健センター	🟢	室の木町3-1-11	24-3751	○		○	○	
室の木東供用会館		立石町4-7-60	21-1005	○	○	○	○	
東中学校		三笠町2-1-9	22-0108		○	○		
東小学校		元町1-9-32	21-2611		○	○		
こども館につこり	🟢	桂町2-6-1	24-0888		○	○		
日本製紙体育館		飯田町2-8-1	24-6222	○	○	○	○	
帝人岩国事業所体育館		日の出町2-1	24-6500	○	○	○		
一文字終末処理場		新港町2-7-145	24-4501	○	○	○	○	
装港小学校	🟢	新港町4-16-30	21-5052	○			○	
装港供用会館	🟢	装束町1-1-43	23-6032	○			○	
HOTEL AZ 山口岩国店		新港町2-6-30	23-3301	○	○	○		
専念寺本堂・川下幼稚園		楠町3-2-30	21-0725		○	○	○	

災害種別避難場所一覧

緊急避難場所	種 別	所在地	電 話	災害種別ごとの適否				
				洪水	土砂	地震	津波	高潮
万行寺本堂・保育園		楠町3-7-21	22-5215		○	○	○	
川下供用会館	早	中津町2-1-3	23-0641		○	○		
漁業協同組合		中津町2-15-25	22-3238		○	○		
川下中学校		中津町2-22-25	21-5168		○	○		
川下小学校		車町1-1-43	22-1533		○	○	○	
法寿寺本堂・法寿幼稚園		車町1-9-22	21-3881		○	○		
車供用会館		車町3-3-34	22-8761		○	○		
旭会館		旭町2-12-27	22-2067		○			
愛宕小学校	へ	尾津町1-1-11	31-7020	○	○	○	○	
高水高校体育館		尾津町2-24-18	31-7191	○		○	○	○
なんわ荘	援	尾津町5-7-30	34-0100		○	○		
地方卸売市場		尾津町5-11-1	32-7355	○	○	○		
愛宕供用会館	早	門前町2-35-2	32-6130		○	○	○	○
中央図書館		南岩国町4-52-1	31-0046	○	○	○	○	○
灘小学校		南岩国町5-60-1	31-7233	○		○	○	○
灘供用会館	早	藤生町1-10-14	31-8707	○	○	○	○	
灘中学校		藤生町2-25-1	32-0211	○		○	○	○
岩国総合高校体育館		藤生町4-41-1	31-6155	○		○	○	○
中洋小学校		青木町2-33-1	38-0338	○		○	○	○
柱島供用会館	早	柱島132-7	48-2001	○		○		○
小瀬供用会館	早	小瀬285-2	52-3312		○	○	○	○
小瀬小学校		小瀬288-1	52-2813			○	○	○
すばる・あすか		関戸299-2	43-2715	○		○	○	○
ティエラ	援	多田3-104-2	44-3003		○	○	○	○
藤河公民館	早	多田2-117-1	41-0037		○	○	○	○
いしい記念病院		多田3-102-1	41-0114		○	○	○	○
藤河小学校	へ	多田1365-2	41-0774	○		○	○	○
デリカウィング		田原266-3	43-4411			○	○	○
御庄公民館	早	御庄1735	46-0001	○			○	○
御庄小学校		御庄1362	46-0016	○	○	○	○	○
ベルコ東山口		御庄4-110-8	45-0444		○	○	○	○
杭名小学校		杭名18-2	47-3044			○	○	○
桜の園	援	下342-1	47-3100		○	○	○	○
北河内公民館	早	下446-2	47-3001	○			○	○
天尾小学校		天尾262	47-3215	○		○	○	○

早 早期避難場所 援 要援護者向けの避難場所 へ ペット受入可能な避難場所

緊急避難場所	種 別	所在地	電 話	災害種別ごとの適否				
				洪水	土砂	地震	津波	高潮
南河内公民館	早	土生39-3	47-2001	○	○		○	○
河内小学校		土生82	47-2005	○	○	○	○	○
岩国西中学校		角77-1	47-2009		○	○	○	○
柱野小学校	早	柱野1092-3	46-1006	○	○	○	○	○
つづの里	援	通津1117-297	39-1021	○	○	○	○	○
通津公民館	早	通津2571-5	38-1001	○	○	○	○	
通津小学校		通津2720	38-1011	○	○	○	○	○
由宇文化会館	早	由宇町中央1-1-15	63-0121		○	○		
由宇文化スポーツセンター		由宇町南沖1-13-1	63-1400	○	○	○	○	
由宇中学校	へ	由宇町北5-2-1	63-0950			○	○	○
由宇小学校	へ	由宇町中央2-10-1	63-0410			○	○	
由宇老人福祉センター		由宇町802	63-0675	○			○	○
由西小学校	早	由宇町3300	63-0920	○		○	○	○
神東小学校		由宇町神東448-1	63-2269	○		○	○	○
神東婦人の家・神東農家研修センター	早	由宇町神東451-5	63-0770	○	○		○	○
玖珂東部コミュニティセンター		玖珂町1610	82-2511	○		○	○	○
玖珂野口コミュニティセンター		玖珂町1052-3	82-2511	○		○	○	○
玖珂総合公園管理棟	へ	玖珂町3800-1	81-0350	○	○	○	○	○
玖珂柳井田コミュニティセンター		玖珂町3627-9	82-2511	○		○	○	○
玖珂大田コミュニティセンター		玖珂町4124-1	82-2511	○	○	○	○	○
玖珂総合センター	早	玖珂町4961	82-5445	○	○	○	○	○
玖珂小学校		玖珂町527-2	82-2039	○	○	○	○	○
玖珂中央小学校		玖珂町4930	82-3504	○	○		○	○
玖珂こどもの館		玖珂町5330	82-5446	○	○	○	○	○
玖珂中学校		玖珂町6345	82-2054	○	○	○	○	○
高森高校体育館		玖珂町1253	82-3234	○		○	○	○
玖珂北部コミュニティセンター		玖珂町627-2	82-2511	○	○	○	○	○
周東川越健康増進センター		周東町三瀬川482-1	86-0116	○	○	○	○	○
周東川越公民館	早	周東町瀬越1560-5	86-0116	○			○	○
周北小学校		周東町瀬越2161	86-0212	○		○	○	○
修成小学校		周東町西長野1141	84-0614	○		○	○	○
周東米川公民館	早	周東町下須通378	84-0002	○			○	○
川上小学校		周東町下久原3032	84-0507	○	○	○	○	○
周東中央公民館		周東町下久原1208-1	84-7709	○	○		○	○
高森小学校		周東町下久原1176	84-0014	○	○	○	○	○

早 早期避難場所 援 要援護者向けの避難場所 へ ペット受入可能な避難場所

緊急避難場所	種別	所在地	電話	災害種別ごとの適否				
				洪水	土砂	地震	津波	高潮
周東体育センター・周東勤労青少年ホーム	早 援	周東町用田137-8	84-1400	○	○	○	○	○
周東南総合センター	援	周東町上久原1075-2	84-0213	○	○	○	○	○
そお小学校		周東町祖生5856	85-0207	○	○	○	○	○
そお保育園		周東町祖生4504-4	85-0046	○			○	○
周東祖生公民館	早	周東町祖生4541-1	85-0001				○	○
旧祖生東小学校体育館		周東町祖生1480	85-0001	○	○	○	○	○
周東中田公民館	早	周東町中山2	84-2622	○	○		○	○
錦ふるさとセンター	早 援	錦町広瀬1125	72-2215	○	○	○	○	○
広東小学校	早	錦町府谷47-1	72-2303				○	○
府谷集会所		錦町府谷2496-1	72-2110	○			○	○
錦大野集会所		錦町大野247-1	72-2110	○		○	○	○
深須小学校	早	錦町須川3319	73-0115	○	○	○	○	○
高根21世紀センター	早	錦町宇佐郷1050-1	74-0001	○		○	○	○
宇佐小学校	援	錦町宇佐1243	74-0525	○			○	○
美川コミュニティセンター	早 援	美川町四馬神1057	76-0211			○	○	○
美川基幹集落センター	早	美川町南桑2420	77-0001			○	○	○
美川林業センター	早	美川町根笠598	77-0211	○			○	○
みかわ保育園		美川町四馬神1322-3	76-0014	○			○	○
美川小学校		美川町南桑2365	77-0202			○	○	○
ハーモニーみわ	早 援	美和町浜前1751	95-0005	○		○	○	○
美和農林業者トレーニングセンター		美和町生見559	96-1111	○		○	○	○
美和西部ふれあいセンター		美和町浜前449	96-1111	○	○	○	○	○
美和東小学校		美和町佐坂241	95-0100	○		○	○	○
美和東部コミュニティセンター		美和町黒沢122-4	96-1111	○	○	○	○	○
美和老人福祉センター	援	美和町西畑135-1	96-0600	○			○	○
美和西小学校		美和町生見739-1	95-0111	○	○	○	○	○
美和阿賀ふれあいセンター		美和町阿賀1039	97-0010	○		○	○	○
北門ふるさと交流館		美和町釜ヶ原378-3	96-1111	○	○	○	○	○
本郷ふるさと交流館	早 援	本郷町本郷2082-1	75-2311	○	○	○	○	○
本郷保健センター	援	本郷町本郷2100-1	75-2350	○	○	○	○	○
波野集落センター		本郷町波野388	—	○		○	○	○

早 早期避難場所 援 要援護者向けの避難場所 援 ペット受入可能な避難場所

普段から地域の避難場所や避難場所までの経路を確認しておきましょう。

7 防災学習館について

岩国市では、もしもの災害に備えるため、体験施設やシアターでの学習を通じ災害に対する知識を深め、いざというときの対応に役立つよう防災学習館を設置しています。

開館時間 9時～17時

休館日 毎週月曜(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

入館料 無料

*10名以上の団体の場合は
事前連絡をお願いします。

施設紹介 ・防災シアター ・地震体験
・煙避難体験 ・消火体験
・119番通報体験
・QAコーナー

所在地 岩国市愛宕町1丁目4-1
いわくに消防防災センター1階
電話 0827-34-0020



防災学習館

8 ハザードマップについて

ハザードマップとは、津波や土砂災害、洪水など災害の種類ごとにその被害の想定範囲や避難場所の位置などを示した地図です。

あらかじめ自宅周辺の状況を把握し、災害時の参考にしてください。

岩国市のハザードマップの種類

- 土砂災害 ●洪水 ●高潮 ●津波
- 地震(ゆれやすさマップ)



■岩国市ハザードマップホームページ

<https://www.city.iwakuni.lg.jp/soshiki/9/>

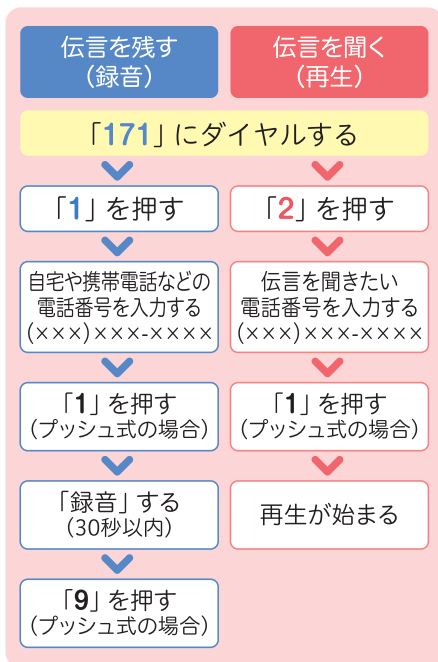


9 安否確認の方法について

災害時、最も心配になるのが家族や友人の安否です。災害直後は電話などがつながりにくくなります。家族や友人と連絡をとる方法を覚えておきましょう。

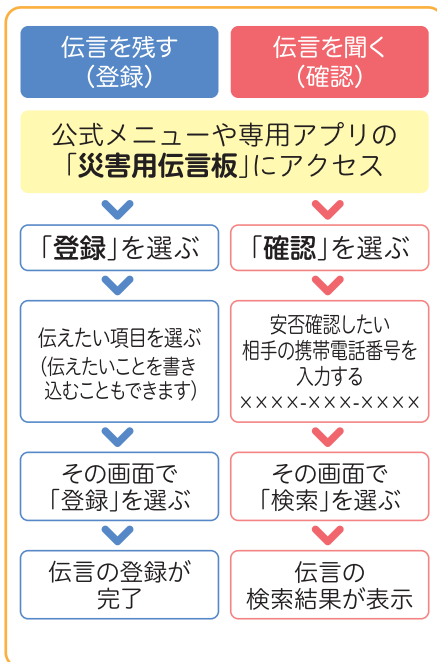
災害用伝言ダイヤル 「171」を使う

地震などの災害の発生により、被災地に対する電話がつながりにくい状況になった場合に利用できます。



携帯電話・スマートフォンの 「災害用伝言板」を利用する

地震などの災害が発生した場合に、携帯電話各社のポータルサイト上に「災害用伝言板」が開設されます。



「災害用伝言ダイヤル171」や携帯電話の「災害用伝言板」は、毎月1日、15日、防災週間(8月30日から9月5日まで)、防災とボランティア週間(1月15日から21日まで)などに体験利用が可能です。

火事・救急 **119番**

警察 **110番**

災害用伝言ダイヤル **171番**

岩国市総務部危機管理課

☎0827-29-5119